

外国人生徒在籍学級における英語授業実践

—日本人生徒と外国人生徒の関係構築を目指して—

教育実践高度化専攻 地域教育課題解決コース 外国人児童生徒支援系

小関 大地

外国にルーツをもつ子どもの増加により、学校における外国人児童生徒への日本語指導や教科指導の必要性が高まってきた。平成 26 年の学校教育法施行規則の一部改正により「特別の教育課程」を編成し、在籍学級外での指導である取り出しによる支援が実施できるようになったが、すべての外国人児童生徒が十分に支援されているわけではない。外国人生徒が多く在籍する実習校での経験から、取り出しによる支援では、国語、数学、理科、社会などの教科は指導されているものの英語はあまり支援されていないことが分かった。実習校での英語の授業中の外国人生徒の観察やアンケートから、英語科における外国人生徒への支援の必要性を感じ、英語科における外国人児童生徒教育について課題や可能性を分析し、実践を行った。日本人生徒と外国人生徒が有効な人間関係を築ける授業づくりを考え、タスクを取り入れた授業を行うことで外国人生徒が活動に参加しやすい授業を行うことができたが、授業外での支援につなげていくためにはより指導方法の工夫が求められる。